

# システムインストール料は本当に高いのか!?

取材・文・写真/神津晴寿

## ジェットサウンド

### 実作業だけではない インストラーの仕事

皆さんがカー・セキュリティを購入するとき、最後の決め手となるのは値段ではないでしょうか。安くても10万円前後、高いシステムでは30万円近くに達してしまうのですからね。特に、本体価格の他に発生する「インストール料」が気になるという方が多いのではないのでしょうか。そんな皆さんのために、ジェットサウンドの内山社長にご協力をいただきインストール料の謎を解き明かしましょう。

一概に「高い」と思っている方が多いと思いますが、そもそもこのインストール料とはどのようなものなのでしょうか。金額はランニングコストを加味して決定されるため、ショップによって多少設定が違います。セキュリティの専門店であれば、地域や車種、ユニットに見合ったインストール料が設定されているはずです。同じクルマにインストールする場合でもユニットによって「手数」が違うため当然金額は変わります。

「インストール料」とはシステムを取り付けする際に発生する手間賃のことを言うのですが、実はインストラーの仕事はそれだけではありません。お客様との打ち合わせから仕事が始まります。数時間に及ぶ打ち合わせによりインストールするシステムを決定します。実はこの打ち合わせ

せという作業がインストラーの仕事のほとんどを占めているといっても過言ではありません。お客様の希望を聞きそれに合わせたシステムを提案する。それには膨大な知識と経験が必要で「いかにお客様の立場に立つて考えられるかが大切」と内山社長。このあと実際の「インストール料」が発生する作業へ移ります。

### 数多くの手数を踏んで システムが構築される

取り付け作業はショップにクルマを預けた後、傷のチェックから始まります。その後インストールする際に必要なパーツをバラして配線のチェック。仮組みして動作の確認と続きます。文章にしてしまうととても簡単な作業に思えてしまうのですが、実は内装をバラすのはかなり大変な作業。特に最新の欧州車などは決まった手順を踏まないと外れなかつたり、クリップの強度が弱かつたりとインストラー泣かせのクルマが多いとのこと。それでも「プロ」なのでリスクを背負いながらも作業は続けられます。

必要箇所をバラしたあとは本体の設置。まず配線類の長さを調整しながら無駄なく配置。そして事前に決めた場所に本体を設置。ここからが技術面でのインストラーの実力の見せ所です。いかに第3者に見破られないように施工していくかが非常に重要。完成後に配線をチェックし

